

平成 27 年度 学校評価の重点事項及び努力事項とその具体的取り組み

兵庫県立小野高等学校

重点事項：学力の向上による進路保障		主担当	スケジュール
(年度努力事項) 授業力の向上			
(目指す姿) 教員が自分の授業力を向上させるために日々研修に練磨することで、生徒が満足できる授業が展開され、それが生徒の学力面に好影響を及ぼす。	(現状) 教員が公開授業や研究授業等を通じて研修を深め、授業改善することで授業力向上に努めている。	(具体的取り組み) 1 教科内での連絡を密にし、授業シラバスを確立し、適切な教材の共有化を図る。 2 各種模擬試験における入試問題の分析を行うとともに、課題実力テストの結果と評価を授業に生かすことで、授業力の向上に努める。 3 7月と12月に授業評価を実施し、問題点を明確にし、授業の改善を行う。	学年 進路 学力向上 随時 各種模擬試験 9月課題実力テスト 随時実施
(年度努力事項) すべての生徒の学力の向上			
(目指す姿) 生徒が日々の授業に知的好奇心を高めて主体的に参加し、学ぶことの楽しさを体感し、潜在的な力を向上させる。	(現状) 朝学習や補習、資格検定等によりすべての生徒の学力向上に努めている。	(具体的取り組み) 1 平成 27 年度教育課程を円滑に実施するために、バランスのよい時間割を作成する。 2 生徒ひとり一人の進路実現をめざして、より適切な教育課程の編成を工夫する。 3 朝学習の内容を精選し、基礎基本事項の定着を図り、補習や面談を通して、学力不振者へ丁寧な指導を行う。 4 専門科目の着実な定着を図るために学科や学年に応じた指導を行うとともに、全商主催検定 1 級の取得率の向上に努める。	教務 教務 学年 進路 商国 4月実施(教務) 1、2学期 朝、放課後、土曜日、長期休業中 通年
(年度努力事項) 進路実績の向上			
(目指す姿) 第一志望届により、早期に目標設定をさせるという指導を通じて、質の高い学習を継続させ、進学校として着実な実績を残す。	(現状) 第一志望届により生徒の進路意識を高め、主任面談と担任面談を通して、進路に向けて意欲を高めている。	(具体的取り組み) 1 第一志望校決定に際し、一年間かけて各種のプロセスを経験することで、進路実現に向けての意欲を高める。 2 実力考查結果を各教科、個々の生徒について検討し、個人成績推移や学習記録を有効に利用した面談等を通じて、進路指導に生かす。 3 進路研修会を通して、生徒の学習状況や大学入試情報を共有し、生徒の進路実績向上に努める。	第 2 学年 第 3 学年 学年 進路 2年1月以降 模試終了後 随時 入試対策 大学入試動向 分析

重点事項：豊かな人間性を持った生徒の育成		主担当	スケジュール	
<p>(年度努力事項) 規律ある態度の育成</p>		<p>(具体的取り組み)</p> <p>1 生活3原則の徹底。特に、登校時の生徒の様子を把握し、心のこもった挨拶ができるように働きかける。</p> <p>2 部活動の活性化を推進しながらも、効率的な練習計画により学習との両立を図る。</p> <p>3 体育大会・コーラス大会などを通して、クラスの一員としての意識を高めるとともに、学校行事を通じてクラスをまとめるリーダーを育成する。</p>	<p>生徒指導 学年</p> <p>生徒指導</p> <p>学年</p>	<p>校門指導を毎日実施</p> <p>部長会議を学期に二回開催</p> <p>行事毎</p>
<p>(目指す姿)</p> <p>自己を律する精神を涵養し、個人と集団との関係を踏まえ、相手の個性を尊重できる生徒を育成する。</p>	<p>(現状)</p> <p>生活3原則を徹底することで生徒の基本的な生活習慣を確立している。</p>			
<p>(年度努力事項) ボランティア体験の実施</p>		<p>(具体的取り組み)</p> <p>1 生徒会行事に積極的に参加し、学校周辺の清掃活動を実施することで、奉仕精神を高める。</p> <p>2 寺子屋交流事業や老人福祉施設訪問、実験観察教室などの「高校生ふるさと貢献活動」に積極的に取り組むことで、地域との連携を深める。</p>	<p>生徒指導</p> <p>総務</p>	<p>6月と12月にクリーンキャンペーン実施</p> <p>随時実施</p>
<p>(目指す姿)</p> <p>奉仕活動に積極的に従事することで、体験学習の大切さや喜びを学ぶ。そして、地域との連携を深め、信頼の置かれる生徒を育成する。</p>	<p>(現状)</p> <p>学校周辺の奉仕活動や「高校生ふるさと貢献活動」に参加することで、生徒に体験学習の大切さを学ばせている。</p>			
<p>(年度努力事項) 人権教育の充実</p>		<p>(具体的取り組み)</p> <p>1 職員の人権意識を高めるとともに、各学年の「生き方ホームルーム」を充実させる。</p> <p>2 海外の人々との交流を通して、文化や価値観の多様性を認識させる。日本の文化を紹介できるようにする。</p> <p>3 生徒、保護者への教育相談の充実とともに、教職員へは校内カウンセリングマインド研修会を実施し共通理解を図る。</p>	<p>人権</p> <p>国際理解</p> <p>保健</p>	<p>ホームルーム計画に基づく</p> <p>・ブリティッシュ来校による国際交流</p> <p>・各種の国際交流</p> <p>・テレビ会議</p> <p>・教育相談 (年間22回予定)</p> <p>・職員対象の研修会 (「カウンセリングマインド」を予定)</p>
<p>(目指す姿)</p> <p>人間尊重の精神を涵養し、日常生活において人権を尊ぶ態度を育てる。自らを見つめ、よりよい生き方を追求できる人間を育成する。</p>	<p>(現状)</p> <p>「生き方HR」について、3班構成で事前研修の場を持ち、学校全体で取り組む体制を作っている。</p>			

重点事項：地域に信頼される学校づくり		主担当	スケジュール
(年度努力事項) 情報発信の手段と内容の充実			
(目指す姿)	(現状)		
ホームページ(公式ウェブサイト)、学校公開等で最新の情報を発信し、保護者・地域住民等に情報を提供し、理解と参画を得て連携協力を進める。	ホームページを充実させながら、保護者や地域に対して学校の情報を的確に発信している。	1 本校ホームページ(公式ウェブサイト)及び学校案内パンフレットをより価値あるものにさせるとともに、学校公開や学校評価の内容を充実させる。 2 第3学区内における本校の特色について、中学校訪問や各種の進学説明会などを通じて強くアピールする。 3 蜻蛉祭や探究発表会などにおいて、探究活動の成果を口頭発表や掲示物の展示を通じて、保護者や近隣の中学生などに情報発信する。	情報図書 総務・学年 学校評価 情報図書 総務・学年 科学総合 3月下旬に探究発表会実施(次年度に「探究論文集」刊行)
(年度努力事項) 教職員の意識の高揚			
(目指す姿)	(現状)		
学校評価制度が今後の小野高校をよりよい方向へと進ませる指針となるべく、教育活動の活性化につなげる。	年間2回実施の学校評価アンケートにより、課題を明確にして、教職員が各部署で改善に努めている。	1 7月と12月に学校評価アンケートを実施し、PDCAサイクル(plan-do-check-act)に基づいて教育活動を活性化させる。 2 学期ごとに「生き方ホームルーム」の事前研修会を実施し、効果的な授業方法の検討と人権意識の向上を図る。 3 学年団内だけでなく、部活動顧問や教科担当者との情報交換を密にし、生徒理解に努める。	学校評価 7月と12月に実施 人権 各学期に一回実施 学年 随時 学年 随時
(年度努力事項) 地域との連携			
(目指す姿)	(現状)		
学校・家庭・地域が三位一体となり、お互いが連携することによって、質の高い組織体となり、開かれた学校づくりに邁進する。	インターンシップや販売実習、インスパイア・ハイスクール事業を通して地域との連携を深め、開かれた学校づくりに邁進する。	1 商業科・国際経済科全員と普通科希望者へインターンシップを実施し、地域との連携を図る。 2 地元企業と連携した販売実習や専門科目の授業を利用した商品開発、地域の課題解決の調査研究活動を実施する。 3 総合的な学習の時間「探究」において、兵庫教育大学や兵庫県立大学などと高大連携により研究内容の充実をはかる。	インターンシップ 5月下旬～11月上旬(実習は8月中) 年度末に報告書の作成 商国 通年(商国) 年度末に論文作成と報告会の開催 科学総合 通年